

見えない炎！ **低温着火**にご注意ください！



低温着火とは？

木材が長期間熱を受けることで、熱分解を繰り返し、炭化状態になり、通常の発火温度よりも低い温度で発火すること。

コンロやストーブなど、強い熱を発する器具の付近では発生する危険がある。

壁体内部の木材が燃焼するため、炎が見えない。



低温着火の危険サイン

- コンロ周辺のタイルやボードの**変色、亀裂**がある
- 火にかけてた鍋などが**壁に接している**
- コンロの火が鍋などより大きく**はみ出している**
- コンロ周辺の**壁を触ると熱い**

低温着火を防ぐポイント

- コンロと壁の間に**適正な間隔**をあける。
- 火にかけてた鍋などが**壁に接しないよう注意**
- コンロの周りに**防熱板などを設置**する。
- 消火器**を必ず設置



タイルの変色



壁内部の焼損



ステンレス板内部の焼損

松山市内でも**飲食店**などで発生。**定期的な点検**を！！